



発行・京都障害者スポーツ振興会
題字 芝田 徳造

「障がいのある子どもたちのスポーツ教室」に参加して

深草小学校育成学級担任 菅田弘久

本校を会場校として「障害児のためのスポーツ活動」を是非しましょう。」と、森田先生からお話をうかがったのは、6月に入ってから間もないころだったかと思いません。夏休みに入るとの提案頃を想定して、ちょうど登校日や課外学習日と兼ねる良い機会という思惑と、いくらかでも暑過ぎる時期で、子どもたちからは歓迎されないのではなからかという心配が交錯しました。開催校である本校の育成学級児童（保護者？）は当然参加に前向きでした。ただし、昼食後にオプションとして予定されているプールの時間、魅力的であったようでした。森田先生に開催主旨や概要の説明をしていただき、その日程が決まっていたり、

炎天下が予想されて中での引率事情などがあり、伏見中支部内での参加校は、意外にも伸び悩みました。三〇名前後が適当な人数であろうという見込みから、いろいろな参加呼びかけからの取りも難しかったように思います。全市への呼びかけにより、他支部からも参加があり、偶然にも総勢三〇名近くの児童が参加する結果となりました。当日は、予想通りの真夏日となり、予想通りでしたが、普段の学級の活動ではなかなか経験出来ない「ソフトボール投げ」や、他校児童と走る「五〇メートル走」など。新鮮な体験が出来るといふ期待や若干の緊張からか、暑さに不満をもちたらしめることも無く、積極的に活動している児童の姿に感心して、い程度に活動だったかと思

ます。いよいよ暑さもピークに達しようかという頃には、体育館に移動となり、直射日光から逃れることができ、五指に入るといわれて、市で本校の大きな体育館です。朝から窓を全開していても室内の気温は相当なものがあればと切に思いました。ここでは、卓球、卓球バレー、そして、フライングデイスク、スクの三種目を体験しました。フライングデイスクについては、飛距離や的入れの記録をしてもいいし、ただ投げるとは、記録をしてもいいし、この記録をしてもいいし、と、それをいつも担任ではなく、「記録員さん」のように人が、慎重を期しながら測定してくれているということに、児童達のモチベーションは上がり、誇らし気にもみえました。また、卓球バレーでは正式なルールを教わりながら、引率者も楽しく参加することが出来ました。開催校としては、初めての試みでもあり、不十分な支援体制であったかと思えます。しかし、参加した児童にとっては、充実度の高い経験になったのではないのでしょうか。酷暑の中ではありません。爽やかな思い出が、スポーツを通じた夏の思い出

として、印象深いものとなりました。参加者全員が閉会式にも関わらず、金メダルもさっそく首にかけたもので、その重みを確かめたい姿も印象的でした。最後にスタッフのみなさんの中には、私にとって懐かしい方々が、大勢いらっしゃいました。現役の時から障害児教育に携わってこられた先輩方が、今また、このようにして育成学級の児童のために、新しい取組を果敢に実施されている姿に感動いたしました。本当にありがとうございました。この深草校は、全館バリアフリーに対応できる作りになっていて、是非、来年も本校で実施して頂ければと思います。そして、蛇足ながら、やはりオプションの絶対外せない活動であったことも、あらためて確信した次第です。

《参加した子どもたちの声》

木の板でやる卓球は、おもしろかったです。またやりたいたいです。
プールが楽しかったです。
プールで、先生にほってもらって楽しかったです。
(裏面へ続く)

行事予定	9月	21(日)	障害者水泳のつどい in 太陽が丘	太陽が丘プール	来月のつどいは 第493回 10 / 12 第2日曜日
		28(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	第34回全京都障害者総合スポーツ大会アーチェリー大会		南丹市日吉総合運動広場		
10月	5(日)	第34回全京都障害者総合スポーツ大会 FD 大会	丹波自然運動公園		
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2014年8月31日に一部更新)					

(表面より)

フライングディスクおもしろかった。

卓球が一番たのしかったです。

金メダルもらって、うれしかったです。

《引率の担任から感想》

一つ一つの種目がわかりやすくとても楽しめました。

卓球バレーやフライングディスクなど、今まで経験したことのない種目に挑戦できて良い機会でした。

内気な6年生もゆったりした気持ちで、自分のペースでスポーツをたっぷり楽しめました。

とても楽しそうで、できたときの達成感の笑顔が最高でした。

記録をとることで、参加している子どもたちのやる気が高まるのが見えた。子どもたちが、朝集合したとき顔とちがい最後はとても楽しい顔に変わっていました。

他校の子どもたちの名前

が分かるように、シールなどで名札があるとよかったです。

もつとレクレーションゲームなどがあれば、コミュニケーションが図れたのではないかと。

《保護者の方からの感想》

盛りだくさんのメニューで特にルールのある遊びに子どもがどう取り組んでくれるのか(理解できるかどうか)興味を持って見学させて頂きました。とても楽しく参加できた様子で良かったです。是非また機会があれば参加させてください。他にも色々なルールのある遊びを知ってほしいと思うのですが家庭では、なかなか教えるのが難しいといつも思っています。短距離走を、思い切り走るとか単純なことでも教え方があれば・・・と思っています。

「参加ありがとうございました。」

「雨・風の中開催のつい報告」スポーツのつどい専門部長

辻井 武

さる、8月10日(日)は、大型で強い台風11号が全国に被害をもたらしました。

第491回障害者スポーツのつどいは、開催されました。雨・風は強かったものの、27名の方々が参加してくださいました。

前日より当日朝まで、「明日、つどいありますか?楽しみにしているのですが...」という電話を何件かいただきました。「このような天候にもかかわらず、つどいを楽しみにしていただいているのだな。」とスタッフ一同胸が熱くなりました。

この日のつどいは、初参加の方も数人おられました。「前から、来よう来ようと思っていて、ようやく都合がついてきました。従兄弟と来たのですが、自分のペースで、ストレッチやダンスを楽しみました。次回は皆さんのされる種目にも参加してみようかなと思えました。」とおっしゃりました。改めて「自分のペースで楽しめるのがつどいの良さの一つなんだなあ。」と感じました。

また、ある親子は「久しぶりに寄せていただきました。二度目です。前回はトランポリンだけでしたが、今回はどの種目も待たずにできたのでいろいろな種目をやらせてみました。それなりに楽しんでいたので、次回もいろいろ経験させてあげたいなと思っていました。」とおっしゃっていました。

「思いました。」とおっしゃっていました。

ある参加者は「車いすハンドボールを楽しみに来ましたが、人数が少ないのでゲームができるか心配していましたが、スタッフの声掛けで、普段やらない人も『やってみよう!』と思われたのか人数が集まってゲームができて楽しかったです。」

終わって感じたことは、人数が少なく寂しかったのですが、つどいの「いいところ」を改めて感じました。

自分のペースで楽しめる。いろいろな種目を選んで体験できる。

声かけあってベテランも初心者も一緒に楽しめる。参加していただいた皆さん本当にありがとうございました。

「障害者スポーツのつどい」ボランテニア体験会

○日時 11月9日(日)

12:30~16:30

○場所 京都府立体育館

(京都市北区大將軍鷹司町)

電話・075(462)9191

Eメール・

taikukan@pref.kyoto.lg.jp

○目的

「障害者スポーツのつどい」のボランテニアを体験する。

○対象

(障害のある方々と一緒にスポーツを楽しもうという方)

う方)

「障害のある方と関わってみたいけれど、どう関わっていいかわからない。」という方が安心ください。スポーツと一緒にすることとで自然に関われ、関わる楽しみが味わえます。「障害のある方とスポーツを通じて関わりたい方」

「障害のある方のスポーツ場面を支えたい方」体験会参加をお待ちしています。

「ボランテニアになるかどうか迷っている方」先ず体験してからボランテニアになるかどうかは考えられてはいかがですか?年齢・障害のあるなしは問いません。(現在のボランテニアは子どもから高齢者まで年齢様々・障害のあるボランテニアも活躍中です。)

○応募方法と締切
府立体育館に電話でお申し込みください。
締切は11月8日(土)15時まで

○当日の主な流れ

① 12:30~

② 13:20~

③ 13:30~

④ 16:00~

当日ボランテニア全員の打ち合わせ
ボランテニア体験
感想話し・情報聞く。